

地域公共交通を守る エッセンシャルワーカー

今すぐ

タクシー労働者に 食える賃金を！

自交総連は、全国のタクシー・ハイヤー・バス・自動車教習所の労働者が加入する、労働者の立場に立ったたかう労働組合です。



他産業や公務の仲間とともに全労連に加盟し、一緒に運動をしています。地方・地域ごとに自交総連の地方組織、全労連の地方労連・地域労連が組合員をサポートします。

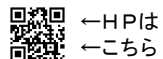
ATU 自交総連

(全国自動車交通労働組合総連合会)

〒110-0003 東京都台東区根岸2-18-2-201

tel: 03-3875-8071

email: info@jikosoren.jp



←HPは
←こちら

オンライン署名も実施中

オンライン (Change.org) でも署名キャンペーンを実施しています。右のQRコードをスマートフォンで読みこんでください。署名のHPに移動します。



自交総連の労働組合が各地で会社と交渉してかちとっている成果

- ◎ コロナ禍で事業閉鎖を計画していた会社と交渉して、雇用調整助成金など政府の制度を使って再建しようと訴え事業継続をかちとりました。
- ◎ 休業手当を、平均賃金の6割など低く提案してきた会社と交渉して10割にさせています。
- ◎ 営業収入の低下で賃金が最低賃金を割り込む人が続出するなかで、足りない分を計算して会社に支払いを迫り、支払わせています。
- ◎ 時間外割増賃金をきちんと支払わない会社と交渉して、さかのぼって正確に支払わせました。
- ◎ 本来、会社がかつべき営業にかかる経費を、運転者に負担させている会社で、手数料負担をなくさせたり、事故のときの費用負担をなくしたり軽減させたりしています。

選挙のためのばらまきを止めて。チャント現実を見てください (埼玉)

生活が苦しい助けてほしい！ (東京)

貯蓄した預金すべてなくなりました (静岡)

必死になって働いてもこの低賃金では涙も出ませんまじめに働く人が報われ、きちんと生活ができるようにしてほしいです (東京)

働きがいのある仕事に!! 人並みの給料に!! (山梨)

現場の
ナマの
声です

現状生活ができず借金がふえるばかり (東京)

現状の賃金では生活できない！ 大変苦しい状況である！ (福島)

長引く不況の中、生活の不安、将来の不安、先行き明かりの見えない状況です。一時金をもっと充実してもらえれば精神的に楽になると思います (東京)

労働者の生活保障、地域公共交通維持を求める請願書を国へ提出します

タクシールへ緊急に、特別な手立てを

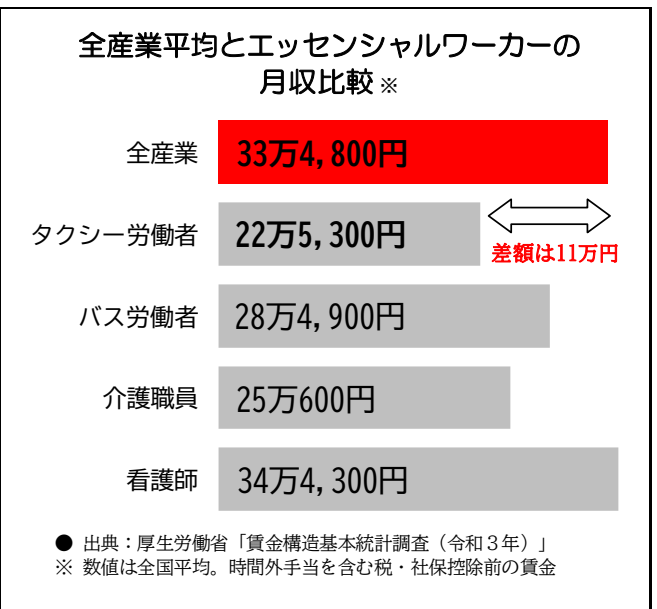
いまタクシーは、地方では最後の公共交通機関として、高齢者や免許返納者の移動に大切な足となっています。

障がい者や妊産婦、病気で通院している人などタクシーが欠かせない交通手段となっている人もたくさんいます。

ところがコロナ危機により、タクシーの営業収入は激減し、歩合給で働くタクシー労働者の賃金も大幅に減少しました。全国で最低賃金法違反の低賃金となる労働者が続出しています。

タクシー労働者の賃金は、同じエッセンシャルワーカー（人々の生活にとって必要不可欠な労働者）と比較しても突出して低く、全産業平均と比較すると月収で十一万円もの開きがあります（左表）。

くらしていけないので、やめる人が続出し、若いタクシー労働者はどんどんいなくなっています。タクシー事業の廃業なども多数発生しており、このままでは、地域の公共交通が運行できなくなっ



まいます。住民の自由な移動を保障するためにも、タクシー労働者の賃金を改善して持続可能な地域公共交通を維持しなければなりません。

私たち自交総連は「食える賃金を保障しろ！」と切実な声を上げ、政府・国土交通省に、「労働者の生活保障、地域公共交通維持を求める請願書」（以下、食える賃金署名）を提出します。

署名はどういう内容？

「食える賃金署名」では、タクシー労働者に対する、①直接現金給付などの緊急措置、②最賃違反の一掃、運転者負担の解消、長時間労働の是正、③車両の需給調整や適正な運賃確立などの環境整備を求めています。

タクシー事業を救済する緊急措置として、④タクシーの減収分の補てんなど直接的な支

援措置を要求しています。また、地域公共交通を維持するために、⑤乗合タクシー・デマンド交通への補助金を大幅に増やし、地方自治体・事業者への啓発・指導・援助をつよめること、障がい者、病気療養中の人、高齢者、妊産婦らがタクシーを利用する際に運賃を補助する制度を国の責任で設けることとしています。

